

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成27年1月29日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長

氏名 大上 高 充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	614,269	11.2	62,997	30.3	65,546	41.2	49,301	45.2
26年3月期第3四半期	552,393	19.1	48,345	73.6	46,418	64.5	33,947	64.1

(注) 四半期包括利益 27年3月期第3四半期 81,067 百万円(23.2 %) 26年3月期第3四半期 65,779 百万円(118.1 %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	224	59	224	59
26年3月期第3四半期	154	22	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	703,797	491,707	489,198	69.5
26年3月期	654,704	432,778	430,509	65.8

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
26年3月期	-	-	25	00	-	-	28	00	53	00
27年3月期	-	-	31	00	-	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	40	00	71	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	835,000	8.0	84,000	23.4	84,500	36.3	62,500	35.3	285	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・ 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	217,397,872株	26年3月期	227,121,372株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	142,896株	26年3月期	7,032,043株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	219,518,539株	26年3月期3Q	220,123,769株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成27年1月29日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネツツビジネス（電子部品事業）
 A E C : オートモティブ・エレクトロニックコンポーネツツビジネス（車載事業）
 S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 その他： 環境事業本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、バックライト事業など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 1 1
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 1 2
(継続企業の前提に関する注記)	P. 1 2
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 1 2
(セグメント情報等)	P. 1 2
4. 補足情報	P. 1 4
(1) 連結業績概要	P. 1 4
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 1 5
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 1 5
(4) 期中平均レート実績	P. 1 5
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 1 6
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 1 6
(7) 期中平均レート予想	P. 1 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 3 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、事業環境の改善や円安の影響などが加わり、前年同期比で大幅な増収増益となりました。売上高は全事業セグメントで増収となり、特に I A B（制御機器事業）、その他事業が好調に推移しました。営業利益は特に I A B が大きく増加しました。

当第 3 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

日本： 消費税増税の影響が一部に見られたものの、総じて堅調
米州： 雇用・所得環境の改善による個人消費の回復や企業活動の拡大などで堅調
欧州： ロシアなどで景気低迷はあるが、需要は横ばいで推移
中華圏： 電子部品業界などを中心とした投資拡大を背景に、需要は堅調
アジア： タイの政情不安、インドネシアの景気低迷が継続するものの、総じて需要は堅調

<当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連： 国内・海外の設備投資需要は堅調、部品需要は海外で堅調
半導体関連： スマートフォンなどの需要拡大により、設備投資需要は回復
工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は回復
家電・電子部品関連： 設備投資需要は緩やかに回復、部品需要は新興国などで堅調
健康医療機器関連： ロシアは景気低迷などにより低調、新興国での需要好調で総じて堅調

また、当社グループは 2014 年 4 月より新たな中期経営計画として VG2020 の EARTH-1 STAGE をスタートさせ、当期の年度方針を「Start Up EARTH-1 “自走的”な成長構造の確立」としています。当第 3 四半期連結累計期間におきましても、実行プランとして「既存事業戦略」、「超グローバル戦略」、「最適化新規事業戦略」、「収益構造改革」、「グローバル人材戦略」などを重点的に実行しています。

当第 3 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	5,523 億 93 百万円	6,142 億 69 百万円	+11.2%
営 業 利 益	483 億 45 百万円	629 億 97 百万円	+30.3%
税引前四半期純利益	464 億 18 百万円	655 億 46 百万円	+41.2%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	339 億 47 百万円	493 億 1 百万円	+45.2%
米ドル平均レート	99.3 円	107.2 円	+7.9 円
ユーロ平均レート	132.1 円	140.5 円	+8.4 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	865 億 95 百万円	929 億 20 百万円	+7.3%
	海外	1,255 億 79 百万円	1,516 億 85 百万円	+20.8%
	合計	2,121 億 74 百万円	2,446 億 5 百万円	+15.3%
営業利益		282 億 72 百万円	402 億 87 百万円	+42.5%

<国内売上高の状況>

自動車・電子部品関連業界などで設備投資需要が好調に推移し、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で好調に推移しました。

<海外売上高の状況>

米州では、設備投資関連需要の緩やかな増加に加えて、オイル&ガス関連事業の需要も大きく増加しました。欧州では、緩やかな回復傾向のもと、堅調に推移しました。中華圏では、電子業界の好調により需要が大きく増加しましたが、下期に入り伸び率は鈍化しました。アジアでは、通貨安の影響はあるものの、需要は堅調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響も加わり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加、費用の効率的な運用、円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	212 億 36 百万円	177 億 53 百万円	△16.4%
	海外	516 億 92 百万円	578 億 57 百万円	+11.9%
	合計	729 億 28 百万円	756 億 10 百万円	+3.7%
営業利益		67 億 96 百万円	70 億 20 百万円	+3.3%

<国内売上高の状況>

業務民生業界における需要は横ばいで推移しましたが、一部業界の需要は低調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で大きく減少しました。

<海外売上高の状況>

米州・欧州では、全体的に需要が横ばいで推移しました。中華圏では、業務民生業界における新規商談の獲得に加えて、家電業界での市場シェアの拡大により好調に推移しました。アジアでは、自動車関連業界向けの需要が拡大しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響も加わり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加、円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で増加しました。

A E C (車載事業)

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	206 億 80 百万円	187 億 69 百万円	△9.2%
	海外	716 億 48 百万円	821 億 56 百万円	+14.7%
	合計	923 億 28 百万円	1,009 億 25 百万円	+9.3%
営 業 利 益		70 億 3 百万円	70 億 54 百万円	+0.7%

<国内売上高の状況>

消費税増税の影響や一部客先の販売不振などにより、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では、好調な米国経済を背景に需要が拡大しました。中華圏・アジアでは、市場の拡大が続き好調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響も加わり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加、円安の影響などはあるものの、研究開発費の増加などにより、営業利益は前年同期比横ばいで推移しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		456 億 61 百万円	479 億 85 百万円	+5.1%
営 業 利 益 (△ 損 失)		△18 億 68 百万円	△9 億 64 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の駅務機器に対する設備投資の更新需要は引き続き堅調に推移しており、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業の売上高の状況>

交通管制システムなどの投資需要の減少により、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で減少しました。

<環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連商品の需要は堅調に推移するなか、一部客先の一時的な需要の減少が見られたものの、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	225 億 68 百万円	232 億 69 百万円	+3.1%
	海外	440 億 57 百万円	502 億 18 百万円	+14.0%
	合計	666 億 25 百万円	734 億 87 百万円	+10.3%
営業利益		64 億 49 百万円	58 億 43 百万円	△9.4%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器の需要においては、新商品の投入や注力商品の店頭販促強化により堅調に推移し、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で堅調に推移しました。

<海外売上高の状況>

米州では、新規商品の投入などで好調に推移しました。欧州では、ウクライナなどにおける政情不安やロシア景気低迷の影響により、需要が低調に推移しました。中国・インドを始めとする新興国では、健康医療機器の需要増加が継続し好調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響も加わり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

海外における先行投資、事業強化への取り組みにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

その他事業

		平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		580 億 50 百万円	677 億 78 百万円	+16.8%
営業利益		70 億 89 百万円	83 億 54 百万円	+17.8%

その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。

<環境事業の売上高の状況>

再生可能エネルギーへの関心の高まりを背景に、国内市場におけるソーラーパワーコンディショナの需要が堅調に推移するなか、一部客先の一時的な需要の減少が見られたものの、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で増加しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置、産業用組込みコンピュータおよび電子機器の開発・生産受託サービスの需要が、ともに好調に推移し、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で増加しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

マイクロフォンの需要増により、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

中華圏を中心としたスマートフォン市場の拡大を背景に高性能バックライトの需要が好調に推移し、当第 3 四半期累計期間における売上高は、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

各事業の売上高の増加や費用の効率的な運用などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、たな卸資産の増加などにより 490 億 93 百万円増加して、7,037 億 97 百万円となりました。また、負債の部は退職給付引当金などの減少により、前連結会計年度末に比べ 98 億 36 百万円減少して、2,120 億 90 百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上に加え、自己株式の取得・消却、為替換算調整額の変動などにより、前連結会計年度末に比べ 589 億 29 百万円増加し、4,917 億 7 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 65.8%から 69.5%となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローの状況は、非支配持分控除前四半期純利益の計上、企業年金基金への拠出等により、426 億 26 百万円の収入（前年同期比 59 億 43 百万円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却収入による増加がありましたが、生産設備等への投資実行、ブラジルのネブライザ生産・販売会社の買収など積極的な投資を実行し、278 億 74 百万円の支出（前年同期比 65 億 8 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い、自己株式の取得により、288 億 71 百万円の支出（前年同期比 214 億 47 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 3 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 71 億 19 百万円減少し、831 億 32 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成 26 年 10 月 28 日発表のとおりとし、変更いたしません。なお、第 4 四半期の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 100 円、1 ユーロ 135 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	396,493	60.6	428,056	60.8
現金及び現金同等物	90,251		83,132	
受取手形及び売掛金	174,216		173,543	
貸倒引当金	△ 1,812		△ 1,939	
たな卸資産	97,677		131,643	
繰延税金	22,688		23,590	
その他の流動資産	13,473		18,087	
有 形 固 定 資 産	135,566	20.7	149,844	21.3
土地	26,344		27,053	
建物及び構築物	140,495		147,317	
機械その他	171,192		198,221	
建設仮勘定	7,126		8,500	
減価償却累計額	△ 209,591		△ 231,247	
投 資 そ の 他 の 資 産	122,645	18.7	125,897	17.9
関連会社に対する 投資及び貸付金	21,349		24,088	
投資有価証券	51,117		50,810	
施設借用保証金	6,950		7,007	
繰延税金	20,918		11,889	
その他の資産	22,311		32,103	
資 産 合 計	654,704	100.0	703,797	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	162,707	24.9	165,830	23.6
短 期 債 務	488		147	
支払手形及び買掛金・未払金	85,218		91,380	
未 払 費 用	39,897		35,446	
未 払 税 金	6,340		3,632	
そ の 他 の 流 動 負 債	30,764		35,225	
繰 延 税 金	2,167	0.3	1,000	0.1
退 職 給 付 引 当 金	50,683	7.7	33,927	4.8
そ の 他 の 固 定 負 債	6,369	1.0	11,333	1.6
負 債 の 部 合 計	221,926	33.9	212,090	30.1
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	430,509	65.8	489,198	69.5
資 本 金	64,100	9.8	64,100	9.1
資 本 剰 余 金	99,067	15.1	99,070	14.1
利 益 準 備 金	11,196	1.7	13,403	1.9
そ の 他 の 剰 余 金	287,853	44.0	296,995	42.2
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 15,162	△ 2.3	16,089	2.3
為 替 換 算 調 整 額	4,536		35,793	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 38,029		△ 37,080	
売却可能有価証券未実現損益	18,466		17,800	
デリバティブ純損益	△ 135		△ 424	
自 己 株 式	△ 16,545	△ 2.5	△ 459	△ 0.1
非 支 配 持 分	2,269	0.3	2,509	0.4
純 資 産 の 部 合 計	432,778	66.1	491,707	69.9
負債及び純資産合計	654,704	100.0	703,797	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成26年4月1日 至平成26年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	552,393	100.0	614,269	100.0
売 上 原 価	338,568	61.3	370,390	60.3
売 上 総 利 益	213,825	38.7	243,879	39.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	131,602	23.8	145,122	23.6
試 験 研 究 開 発 費	33,878	6.1	35,760	5.8
営 業 利 益	48,345	8.8	62,997	10.3
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	1,927	0.4	△ 2,549	△ 0.4
税 引 前 四 半 期 純 利 益	46,418	8.4	65,546	10.7
法 人 税 等	15,574	2.9	19,664	3.2
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 3,348	△ 0.6	△ 3,724	△ 0.6
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	34,192	6.1	49,606	8.1
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	245	0.0	305	0.1
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	33,947	6.1	49,301	8.0

(四半期連結包括損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		34,192	49,606
その他の包括利益－税効果考慮後			
為替換算調整額		25,612	31,467
退職年金債務調整額		948	949
売却可能有価証券未実現損益		5,717	△ 666
デリバティブ純損益		△ 690	△ 289
その他の包括利益(△損失)計		31,587	31,461
四半期包括利益		65,779	81,067
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		473	515
当社株主に帰属する四半期包括利益		65,306	80,552

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔自平成25年4月1日 至平成25年12月31日〕	〔自平成26年4月1日 至平成26年12月31日〕		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 非支配持分控除前四半期純利益			34,192		49,606	
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 非支配持分控除前四半期純利益の調整						
(1) 減価償却費			18,316		20,490	
(2) 固定資産除売却損(純額)			275		3,073	
(3) 長期性資産の減損			243		—	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△		1,714	△	4,337	
(5) 投資有価証券の減損			488		138	
(6) 退職給付当金	△		3,400	△	15,502	
(7) 繰延税			1,096		5,371	
(8) 持分法投資損益(△利益)	△		3,348	△	3,724	
(9) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少			9,200		12,666	
② たな卸資産の増加	△		15,295	△	23,709	
③ その他の資産の増加	△		1,202	△	2,637	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加			1,173		161	
⑤ 未払税金の増加(△減少)			3,430	△	3,169	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加			4,525		2,824	
(10) その他(純額)			590		1,375	△ 6,980
営業活動によるキャッシュ・フロー			48,569		42,626	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入			2,824		5,248	
2. 投資有価証券の取得	△		2,179	△	25	
3. 資本的支出	△		22,623	△	25,572	
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)	△		29		90	
5. 有形固定資産の売却による収入			460		418	
6. 事業売却(現金流出額との純額)			26		—	
7. 事業買収(現金取得額との純額)			—		8,003	△ 8,003
8. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)			155		30	△ 30
投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 21,366		△ 27,874	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)			3,523		502	△ 502
2. 親会社の支払配当金	△		10,566	△	12,985	△ 12,985
3. 非支配株主への支払配当金			—		277	△ 277
4. 自己株式の取得	△		40	△	15,045	△ 15,045
5. その他(純額)	△		341	△	62	△ 62
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 7,424		△ 28,871	
IV 換算レート変動の影響			4,479		7,000	
現金及び現金同等物の増減額			24,258		△ 7,119	△ 7,119
期首現金及び現金同等物残高			55,708		90,251	90,251
四半期末現金及び現金同等物残高			79,966		83,132	83,132
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額			186		145	145
2. 法人税等の支払額			10,259		17,000	17,000
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務			649		1,374	1,374
2. 自己株式の消却による利益剰余金の減少			—		31,130	31,130

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	212,174	72,928	92,328	45,661	66,625	58,050	547,766	4,627	552,393
(2)セグメント間の内部売上高	5,572	36,513	88	3,089	80	20,765	66,107	△ 66,107	—
計	217,746	109,441	92,416	48,750	66,705	78,815	613,873	△ 61,480	552,393
営業費用	189,474	102,645	85,413	50,618	60,256	71,726	560,132	△ 56,084	504,048
営業利益 (△ 損失)	28,272	6,796	7,003	△ 1,868	6,449	7,089	53,741	△ 5,396	48,345

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	244,605	75,610	100,925	47,985	73,487	67,778	610,390	3,879	614,269
(2)セグメント間の内部売上高	4,152	37,457	941	3,651	135	18,815	65,151	△ 65,151	—
計	248,757	113,067	101,866	51,636	73,622	86,593	675,541	△ 61,272	614,269
営業費用	208,470	106,047	94,812	52,600	67,779	78,239	607,947	△ 56,675	551,272
営業利益 (△ 損失)	40,287	7,020	7,054	△ 964	5,843	8,354	67,594	△ 4,597	62,997

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	247,916	72,307	72,836	105,355	53,979	552,393	—	552,393
(2)セグメント間の内部売上高	119,398	2,035	1,230	68,789	16,721	208,173	△ 208,173	—
計	367,314	74,342	74,066	174,144	70,700	760,566	△ 208,173	552,393
営業費用	335,055	74,579	73,111	159,858	64,669	707,272	△ 203,224	504,048
営業利益 (△ 損失)	32,259	△ 237	955	14,286	6,031	53,294	△ 4,949	48,345

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	248,831	88,481	78,755	137,446	60,756	614,269	—	614,269
(2)セグメント間の内部売上高	131,949	2,475	1,272	67,288	17,848	220,832	△ 220,832	—
計	380,780	90,956	80,027	204,734	78,604	835,101	△ 220,832	614,269
営業費用	343,159	89,438	76,566	187,250	71,899	768,312	△ 217,040	551,272
営業利益 (△ 損失)	37,621	1,518	3,461	17,484	6,705	66,789	△ 3,792	62,997

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	74,135	76,739	105,698	56,324	312,896
II 連結売上高					552,393
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	13.9	19.1	10.2	56.6

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	90,818	82,928	137,953	63,908	375,607
II 連結売上高					614,269
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.8	13.5	22.4	10.4	61.1

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成26年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第3四半期	前年同期比	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	552,393	614,269	111.2%	772,966	835,000	108.0%
営業利益 (率)	百万円 (%)	48,345 (8.8%)	62,997 (10.3%)	130.3% (+1.5P)	68,055 (8.8%)	84,000 (10.1%)	123.4% (+1.3P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	46,418 (8.4%)	65,546 (10.7%)	141.2% (+2.3P)	62,007 (8.0%)	84,500 (10.1%)	136.3% (+2.1P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	33,947	49,301	145.2%	46,185	62,500	135.3%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	154円22銭	224円59銭	+70円37銭	209円82銭	285円39銭	+75円57銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	—	224円59銭	—	—		
総資産	百万円	645,315	703,797	109.1%	654,704		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	426,724 (66.1%)	489,198 (69.5%)	114.6% (+3.4P)	430,509 (65.8%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,938円62銭	2,251円72銭	+313円10銭	1,956円06銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	48,569	42,626	△5,943	79,044		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△21,366	△27,874	△6,508	△31,125		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△7,424	△28,871	△21,447	△16,298		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	79,966	83,132	+3,166	90,251		

(注) 連結子会社数は158社、持分法適用関連会社数は11社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成26年3月期 第3四半期累計	平成27年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	国内	866	929	107.3%
	海外	1,256	1,517	120.8%
	計	2,122	2,446	115.3%
E M C	国内	212	177	83.6%
	海外	517	579	111.9%
	計	729	756	103.7%
A E C	国内	207	187	90.8%
	海外	716	822	114.7%
	計	923	1,009	109.3%
S S B	国内	456	475	104.3%
	海外	1	5	461.0%
	計	457	480	105.1%
H C B	国内	225	233	103.1%
	海外	441	502	114.0%
	計	666	735	110.3%
その他	国内	391	350	89.6%
	海外	190	328	172.7%
	計	581	678	116.8%
消去調整他	国内	38	36	91.0%
	海外	8	3	51.6%
	計	46	39	83.8%
合 計	国内	2,395	2,387	99.7%
	海外	3,129	3,756	120.0%
	(海外比率)	(56.6%)	(61.1%)	(+4.5P)
	計	5,524	6,143	111.2%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成26年3月期 第3四半期累計	平成27年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	283	403	142.5%
E M C	68	70	103.3%
A E C	70	71	100.7%
S S B	△ 19	△ 10	—
H C B	64	58	90.6%
その他	71	84	117.8%
消去調整他	△ 54	△ 46	—
合計	483	630	130.3%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成26年3月期 第3四半期累計	平成27年3月期 第3四半期累計	前年同期比
USD	99.3	107.2	+7.9
EUR	132.1	140.5	+8.4

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
I A B	2,917	3,210	110.0%
E M C	977	1,015	103.9%
A E C	1,266	1,315	103.9%
S S B	827	845	102.2%
H C B	893	1,000	112.0%
その他	789	915	115.9%
消去調整他	61	50	83.5%
合計	7,730	8,350	108.0%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
I A B	388	500	129.0%
E M C	87	92	106.3%
A E C	91	89	98.0%
S S B	56	62	111.7%
H C B	75	72	95.4%
その他	87	105	121.0%
消去調整他	△ 103	△ 80	—
合計	681	840	123.4%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
U S D	100.1	105.5	+ 5.4
E U R	134.0	139.2	+ 5.2

(注) 平成27年3月期の予想における 第4四半期の業績予想の前提としている為替レートは
1米ドル100円、1ユーロ135円です。